

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	東山高等学校
所在地	〒606-8445 京都市左京区永観堂町51
電話番号	075-771-9121

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>法然上人の人格・思想を建学の精神とし、知育・徳育・体育のバランスがとれた人材の育成を実施。 仏教の教えを拠り所に、困難に見舞われた時もお互いを思いやる人を育てている。</p>																																				
<p>(2) 本校の特色及び 将来展望</p>	<p>本校の特色は、情熱と主体性を持って行動し、自分の夢や目標を実現していく力、「セルフ・リーダーシップ」を育むことを教育目標としていることである。また、土台力を身につけた卒業生を多く輩出し、継続的に社会の基盤となる人材を育てていく。</p>																																				
<p>(3) ・ 令和6年度納付金  ※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。  ・ 今回改定 あり <b>なし</b> ・ 前回改定  年度</p>	<table border="1" data-bbox="772 1012 1871 1418"> <tr> <td rowspan="2">【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td rowspan="2">考査料</td> </tr> <tr> <td>120,000</td> <td></td> <td>550,000</td> <td>235,000</td> <td>785,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【2年生】</td> <td colspan="2"></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>550,000</td> <td>235,000</td> <td>785,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【3年生】</td> <td colspan="2"></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>550,000</td> <td>235,000</td> <td>785,000</td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料	120,000		550,000	235,000	785,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				550,000	235,000	785,000	【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				550,000	235,000	785,000
【1年生】	入学金		施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料																														
	120,000		550,000	235,000	785,000																																
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																
			550,000	235,000	785,000																																
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																
			550,000	235,000	785,000																																
<p>・ 今後の納付金に対する考え方</p>	<p>経済情勢や環境の変化に伴い、令和2年度に11年ぶりの改定。当面は現行水準を維持していき、教育環境の充実により、生徒にソフト・ハードの双方における内容面の向上で、生徒に還元していきたい。引き続き、経費等の削減にも取り組んでいく。</p>																																				
<p>(4) 教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況</p>	<p>教育内容については、ICT教育の充実やアクティブラーニングの強化を図っている。施設整備については、26年度に新南館校舎および新講堂が完成した。29年度には図書館棟の耐震改修工事を行い、教育環境の充実を図るとともに、生徒の安心・安全を確保している。</p>																																				
<p>(5) 令和6年度の保護者 負担軽減策及び考え方</p>	<p>従前からの学校独自の奨学・修学支援制度の主なものは以下のとおり ・ 富田奨学金</p>																																				
<p>(6) 今後5年程度の保護者 負担軽減計画</p>	<p>これまでに引き続き、財務体質の強化、経営環境の改善を図る。同時に本校の特色を貫き、基礎力・土台力を身につけた人材を多く輩出することで、入学生の増加や寄付金の増加につなげ、保護者への負担軽減を検討していきたい。</p>																																				